

2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月10日

上場会社名 株式会社TRUCK-ONE 上場取引所 福
コード番号 3047 URL https://www.truck-one.com
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）小川 雄也
問合せ先責任者 （役職名）常務取締役管理本部長 （氏名）眞崎 高利 TEL 0833-44-1100
半期報告書提出予定日 2026年8月10日 配当支払開始予定日 2026年9月1日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	3,977	19.2	319	61.9	336	67.1	221	82.5
2025年12月期中間期	3,337	△0.8	197	2.2	201	3.0	121	△24.5

（注）包括利益 2026年12月期中間期 225百万円（88.3％） 2025年12月期中間期 119百万円（△30.4％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	92.31	—
2025年12月期中間期	50.57	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年12月期中間期	6,829	1,758	25.8	733.07
2025年12月期	6,502	1,550	23.8	646.19

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 1,758百万円 2025年12月期 1,550百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	4.00	—	7.00	11.00
2026年12月期	—	5.50			
2026年12月期（予想）			—	5.50	11.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	△5.9	510	△8.8	530	△5.9	330	△9.8	137.56

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー 社 (社名)、除外 ー 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年12月期中間期	2,552,000株	2025年12月期	2,552,000株
2026年12月期中間期	153,100株	2025年12月期	153,100株
2026年12月期中間期	2,398,900株	2025年12月期中間期	2,398,900株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結損益計算書に関する注記)	9
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、中東情勢の影響による資材の供給制約やエネルギー価格の高止まりなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、商用車関連事業につきましては、販売台数は前年同期を下回ったものの、中型および大型車両の販売が堅調に推移したことにより、増収増益となりました。また、運送関連事業につきましても、計画どおり順調に進捗したことから、増収増益となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績としては、売上高3,977,217千円(前年同期比19.2%増)、営業利益319,839千円(前年同期比61.9%増)、経常利益336,489千円(前年同期比67.1%増)、親会社株主に帰属する中間純利益221,444千円(前年同期比82.5%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりです。

① 商用車関連事業

国内販売において、前年同期と比較して、販売台数が減少したものの、中型および大型車両を中心として販売が堅調に推移したことにより、商用車関連事業の売上高は3,556,326千円(前年同期比21.7%増)、セグメント利益は268,383千円(前年同期比77.8%増)となりました。

② 運送関連事業

概ね計画どおりに推移し、売上高は前年同期並みで推移したものの、収益性の改善により、運送関連事業の売上高は420,891千円(前年同期比1.6%増)、セグメント利益は49,989千円(前年同期比18.7%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の分析

(資産)

当中間連結会計期間末の資産合計は6,829,221千円となり、前連結会計年度末に比べ327,081千円の増加となりました。このうち流動資産は9,705千円減少して4,412,186千円となりました。主な要因は商品及び製品が195,646千円増加し、現金及び預金が139,004千円、受取手形、売掛金及び契約資産が85,147千円減少したことによるものです。また、固定資産は336,786千円増加して2,417,035千円となりました。主な要因は有形固定資産が319,233千円、投資その他の資産が18,926千円増加し、無形固定資産が1,374千円減少したことによるものです。

(負債)

負債合計は5,070,658千円となり、前連結会計年度末に比べ118,653千円の増加となりました。このうち流動負債は156,882千円増加して4,558,753千円となりました。主な要因は短期借入金が450,000千円増加し、支払手形及び買掛金が315,084千円、未払金が41,944千円減少したことによるものです。また、固定負債は38,230千円減少して511,904千円となりました。主な要因は長期借入金が14,912千円、リース債務が11,325千円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産合計は1,758,562千円となり、前連結会計年度末に比べ208,428千円の増加となりました。主な要因は利益剰余金が204,652千円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」）の残高は、前連結会計年度末に比べ139,007千円減少し、564,559千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により減少した資金は334,963千円（前年同期は645,227千円の資金減少）となりました。主な要因は、税金等調整前中間純利益336,489千円の計上、減価償却費169,302千円の計上、棚卸資産444,948千円の増加による資金の減少及び仕入債務315,956千円の減少による資金の減少であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は204,576千円（前年同期は140,494千円の資金減少）となりました。主な要因は、固定資産の取得による支出206,337千円の資金の減少であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により増加した資金は400,532千円（前年同期は551,631千円の資金増加）となりました。主な要因は、短期借入金450,000千円の純増加による資金の増加であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想につきましては、最近の動向等を踏まえ、2026年2月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表致しました「2026年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	723,595	584,591
受取手形、売掛金及び契約資産	273,613	188,466
商品及び製品	3,357,204	3,552,850
原材料及び貯蔵品	37,693	13,658
その他	31,169	73,867
貸倒引当金	△1,384	△1,249
流動資産合計	4,421,891	4,412,186
固定資産		
有形固定資産		
賃貸用資産(純額)	473,777	729,490
土地	1,056,787	1,056,787
その他(純額)	410,439	473,959
有形固定資産合計	1,941,003	2,260,237
無形固定資産		
その他	7,519	6,145
無形固定資産合計	7,519	6,145
投資その他の資産		
投資有価証券	76,384	82,203
敷金及び保証金	23,232	20,364
繰延税金資産	1,577	15,636
その他	30,530	32,446
投資その他の資産合計	131,725	150,651
固定資産合計	2,080,249	2,417,035
資産合計	6,502,140	6,829,221
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,062,932	747,848
短期借入金	2,950,000	3,400,000
1年内返済予定の長期借入金	27,708	27,708
リース債務	30,231	23,811
未払金	131,784	89,840
未払法人税等	115,417	143,671
賞与引当金	1,202	32,327
その他	82,594	93,548
流動負債合計	4,401,871	4,558,753
固定負債		
社債	250,000	250,000
長期借入金	199,391	184,479
リース債務	33,176	21,851
繰延税金負債	46,131	33,190
退職給付に係る負債	21,135	22,084
その他	300	300
固定負債合計	550,134	511,904
負債合計	4,952,005	5,070,658

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年 6 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	97,725	97,725
資本剰余金	44,955	44,955
利益剰余金	1,392,596	1,597,248
自己株式	△14,481	△14,481
株主資本合計	1,520,795	1,725,447
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,339	33,115
その他の包括利益累計額合計	29,339	33,115
純資産合計	1,550,134	1,758,562
負債純資産合計	6,502,140	6,829,221

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	3,337,047	3,977,217
売上原価	2,815,021	3,314,960
売上総利益	522,025	662,256
販売費及び一般管理費	324,494	342,417
営業利益	197,531	319,839
営業外収益		
受取利息	177	568
受取配当金	1,464	1,706
受取保険金	95	21,748
保険解約返戻金	316	436
補助金収入	322	1,179
会員権償還益	4,256	-
その他	4,812	7,682
営業外収益合計	11,446	33,321
営業外費用		
支払利息	7,127	12,253
固定資産除却損	0	3,912
その他	483	505
営業外費用合計	7,610	16,671
経常利益	201,367	336,489
特別損失		
役員退職慰労金	10,000	-
特別損失合計	10,000	-
税金等調整前中間純利益	191,367	336,489
法人税、住民税及び事業税	74,049	131,255
過年度法人税等	-	12,830
法人税等調整額	△4,003	△29,041
法人税等合計	70,045	115,044
中間純利益	121,321	221,444
親会社株主に帰属する中間純利益	121,321	221,444

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	121,321	221,444
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,685	3,775
その他の包括利益合計	△1,685	3,775
中間包括利益	119,636	225,220
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	119,636	225,220
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	191,367	336,489
減価償却費	162,208	169,302
貸倒引当金の増減額(△は減少)	298	△135
賞与引当金の増減額(△は減少)	27,512	31,124
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4,656	949
受取利息及び受取配当金	△1,642	△2,275
支払利息	7,127	12,253
ゴルフ会員権償還益	△4,256	-
固定資産除売却損益(△は益)	0	3,912
売上債権の増減額(△は増加)	99,049	107,431
棚卸資産の増減額(△は増加)	△648,505	△444,948
未収入金の増減額(△は増加)	159	△4,266
仕入債務の増減額(△は減少)	△235,335	△315,956
未払金の増減額(△は減少)	△16,800	△22,011
未払費用の増減額(△は減少)	△3,272	△2,407
未収消費税等の増減額(△は増加)	△49,233	△36,100
未払消費税等の増減額(△は減少)	△53,764	△31,316
その他	△10,164	△6,644
小計	△539,908	△204,599
利息及び配当金の受取額	1,641	2,268
利息の支払額	△7,391	△16,800
法人税等の支払額	△99,568	△115,832
営業活動によるキャッシュ・フロー	△645,227	△334,963
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△4
投資有価証券の取得による支出	△0	△1
固定資産の取得による支出	△142,666	△206,337
貸付けによる支出	-	△354
貸付金の回収による収入	164	344
その他の支出	△1,059	△1,184
その他の収入	3,067	2,961
投資活動によるキャッシュ・フロー	△140,494	△204,576
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	600,000	450,000
長期借入金の返済による支出	△9,074	△14,912
リース債務の返済による支出	△24,915	△17,746
配当金の支払額	△14,379	△16,809
財務活動によるキャッシュ・フロー	551,631	400,532
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△234,090	△139,007
現金及び現金同等物の期首残高	585,337	703,567
現金及び現金同等物の中間期末残高	351,246	564,559

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結損益計算書に関する注記)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
給与手当	86,312千円	89,819千円
賞与引当金繰入額	14,577千円	16,660千円

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※1 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
現金及び預金	371,273千円	584,591千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△20,026千円	△20,032千円
現金及び現金同等物	351,246千円	564,559千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	商用車関連事業	運送関連事業	計		
売上高					
日本	2,701,624	414,197	3,115,821	-	3,115,821
海外	221,225	-	221,225	-	221,225
顧客との契約から生じる収益	2,922,849	414,197	3,337,047	-	3,337,047
外部顧客への売上高	2,922,849	414,197	3,337,047	-	3,337,047
セグメント間の内部売上高 又は振替高	39,281	22,204	61,485	△61,485	-
計	2,962,131	436,401	3,398,533	△61,485	3,337,047
セグメント利益	150,956	42,112	193,069	4,462	197,531

(注) 1 セグメント利益の調整額4,462千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	商用車関連事業	運送関連事業	計		
売上高					
日本	3,319,322	420,891	3,740,213	-	3,740,213
海外	237,003	-	237,003	-	237,003
顧客との契約から生じる収益	3,556,326	420,891	3,977,217	-	3,977,217
外部顧客への売上高	3,556,326	420,891	3,977,217	-	3,977,217
セグメント間の内部売上高 又は振替高	57,833	20,034	77,867	△77,867	-
計	3,614,159	440,925	4,055,085	△77,867	3,977,217
セグメント利益	268,383	49,989	318,373	1,466	319,839

(注) 1 セグメント利益の調整額1,466千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。